

国保財政健全化変更計画書

「国民健康保険保険者の赤字削減・解消計画の策定等について」(平成30年1月29日付保国発0129第2号厚生労働省国民健康保険課長通知)に基づく赤字削減・解消計画

(平成30年度から令和11年度まで12ヵ年計画)

都道府県名	保険者番号	保険者名
東京都	18	荒川区

① 赤字の発生状況	年度(赤字発生年度)	平成29年度		赤字の原因					
	法定外繰入金 ※1	1,480,037千円		・特別区独自の激変緩和措置として、平成30年度の納付金算定にて、納付金の94%分を見込んで保険料率を設定し、保険料の急激な上昇を抑制してきたため。 ・保険料の未納発生を考慮した収納率の割戻しを行わないことにより、負担を抑制しているため。 ・歳入:保険料の収納率は向上している方だが、都内市町村の平均の水準までは未だ到達していない。 ・歳出:一人当たり医療費が増加傾向にあり、特別区平均と比べても高い水準にある。					
	繰上充用金の新規増加分 ※2	千円							
	赤字額(合計)	1,480,037千円							
② 赤字削減計画	赤字削減・解消のための基本方針			赤字削減・解消のための具体的取組内容					
	1 令和6年度決算ベースの赤字額:427,394千円 2 解消の目標年次:令和17年度 3 赤字削減・解消手段の主要事項 ・保険料率の適正な設定 ・収納率向上対策の強化 ・医療費適正化対策・保健事業の推進			1. 収納率による割戻しの実施に向けた検討をする。 2. 口座振替の利用促進、電子マネー決済の導入、多言語対応による制度周知等、滞納を発生させない取組みを行い、保険料の収納対策を強化する。 3. ジェネリック医薬品の利用促進、糖尿病重症化予防、特定健診・特定保健指導の受診率向上等の医療費適正化対策・保健事業を推進する。					
	年度別の赤字削減予定額(率) ※3	計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	合計
		年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		法定外繰入の削減予定額(率)	689,346 千円(%)	158,138 千円(%)	158,138 千円(%)	158,138 千円(%)	158,138 千円(%)	189,842 千円(%)	1,511,740 千円(%)
		繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)
合計赤字削減予定額(率)	689,346 千円(%)	158,138 千円(%)	158,138 千円(%)	158,138 千円(%)	158,138 千円(%)	189,842 千円(%)	1,511,740 千円(%)		

※1 国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。

※2 当該年度の繰上充用(当該年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。

※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

上記のとおり国保財政健全化変更計画書を提出します。

令和8年3月6日

東京都知事 殿

保険者名 荒川区

代表者職氏名 荒川区長 滝口 学 印

国保財政健全化変更計画書

「国民健康保険保険者の赤字削減・解消計画の策定等について」(平成30年1月29日付保国発0129第2号厚生労働省国民健康保険課長通知)に基づく赤字削減・解消計画

(平成30年度から令和11年度まで12ヵ年計画)

都道府県名	保険者番号	保険者名
東京都	18	荒川区

① 赤字の発生状況	年度(赤字発生年度)	平成29年度		赤字の原因					
	法定外繰入金 ※1	1,480,037千円		・特別区独自の激変緩和措置として、平成30年度の納付金算定にて、納付金の94%分を見込んで保険料率を設定し、保険料の急激な上昇を抑制してきたため。 ・保険料の未納発生を考慮した収納率の割戻しを行わないことにより、負担を抑制しているため。 ・歳入:保険料の収納率は向上している方だが、都内市町村の平均の水準までは未だ到達していない。 ・歳出:一人当たり医療費が増加傾向にあり、特別区平均と比べても高い水準にある。					
	繰上充用金の新規増加分 ※2	千円							
	赤字額(合計)	1,480,037千円							
② 赤字削減計画	赤字削減・解消のための基本方針			赤字削減・解消のための具体的取組内容					
	1 令和6年度決算ベースの赤字額:427,394千円 2 解消の目標年次:令和17年度 3 赤字削減・解消手段の主要事項 ・保険料率の適正な設定 ・収納率向上対策の強化 ・医療費適正化対策・保健事業の推進			1. 収納率による割戻しの実施に向けた検討をする。 2. 口座振替の利用促進、電子マネー決済の導入、多言語対応による制度周知等、滞納を発生させない取組みを行い、保険料の収納対策を強化する。 3. ジェネリック医薬品の利用促進、糖尿病重症化予防、特定健診・特定保健指導の受診率向上等の医療費適正化対策・保健事業を推進する。					
	年度別の赤字削減予定額(率) ※3	計画年次	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	第11年次	第12年次	合計
		年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	
		法定外繰入の削減予定額(率)	189,841 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	1,895,851 千円(%)
繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率)		0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	
合計赤字削減予定額(率)	189,841 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	38,854 千円(%)	1,895,851 千円(%)	

※1 国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。

※2 当該年度の繰上充用(当年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。

※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

上記のとおり国保財政健全化変更計画書を提出します。

令和8年3月6日

東京都知事 殿

保険者名 荒川区

代表者職氏名 荒川区長 滝口 学 印